―お詫び―　福岡教区アプリケーションは不具合のため現在ご利用いただけません。復旧までの間は福岡教区ホームページよりご覧ください。

カトリック
福岡教区報

ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人　カトリック福岡司教区
編集人　浦川務
TEL　092-522-4059
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　1部70円

2027年7月16日　福岡教区は創立100周年を迎えます。

新教皇誕生
教皇レオ14世と共に歩んでいきましょう
ヨゼフ・アベイヤ司教　福岡教区長

©Vatican Media

Leo P.P. XIV

先月、教皇フランシスコの逝去を悼み、よき牧者を教会と世界に与えてくださった天の父に感謝せずにはいられませんでした。教皇フランシスコの証しと教えを忘れたくないと思います。福音を全世界に示してくださいました。

そして5月8日、聖アウグスチノ修道会のロバート・フランシス・プレヴォスト枢機卿が新教皇に選ばれ、レオ14世を名乗りました。私たちは、新しい牧者が与えられたことを全世界の教会とともに喜びました。

日本のマスメディアは両方の出来事を大きく報道しました。確かに教皇に政治的な影響力があることは事実ですが、同時に、さまざまな危機にさらされている現代世界の中で、すべての命の尊さと一人ひとりの人間の尊厳を中心に置いて語る教皇の声が求められています。多くの人々は希望を与えてくれることばを待っていると深く感じさせられたのです。

教皇レオ14世は、最初の挨拶から人々の心に響くメッセージを発信されました。「あなた方に平和」と、イエスのことばで挨拶して。そしてそれぞれ一人ひとりの心に、各家族に、すべての国に届くようにと、表明されました。

これから私たちは、教皇レオ14世と共に歩んでいきます。

私自身は、修道会の総長をしていたときに、アグスチノ修道会の総長だった当時のプレヴォスト神父様と一緒にさまざまな会議や活動で出会う機会がありました。

思い出として一つ語るとすれば、それは、プレヴォスト神父様が示していた宣教的な姿勢です。

教皇様とともに、福音を証しし、伝えていきましょう。

ヨゼフ・アベイヤ

6月の意向
教皇の意向のために祈りましょう

【教皇の意向】世界に思いやりの心を育む

【日本の教会】難民移住移動者

第267代ローマ教皇レオ14世
（本名：Robert Francis Prevost）

1955年9月14日米国イリノイ州シカゴ生まれ（69歳）。幼少から青年期まで聖アウグスチノ修道会の小神学校で学ぶ。

1977年 聖アウグスチノ修道会・善き勧めの聖母管区の修練院に入る。
1978年 初誓願。
1981年 荘厳誓願（終生誓願）。
1982年 司祭叙階。
1984年 宣教のため、ペルー・ピウラ州チュルカナスへ（1985-1986）。
1999年 聖アウグスチノ修道会・善き勧めの聖母管区の管区長。2年半後、同会総長に。
2013年 シカゴに戻り所属管区で奉仕後、
2014年 教皇フランシスコにより司教叙階。
2015年 ペルー・チクラヨ教区の司教に任命。
2023年 教皇庁司教省長官、ラテン・アメリカ委員会委員長。同年枢機卿に叙任。

教皇庁福音宣教省初期宣教部門、奉献・使徒的生活会省などで多くの重責を担われる。

※詳細は右記QRコードからご覧になれます。
（外部リンク：カトリック中央協議会）

ありがとう　パリ・ミッション会
神の恵みと祈りに感謝
～50年の使命を終えて～

ミサを捧げるマルセル神父

プチジャン神父の長崎・信徒発見に始まり、日本での宣教に多大なる功績を残すパリ外国宣教会。同会のエミール・ラゲ神父らが福岡へ派遣され、福岡における宣教が開始された1887年から数えること約140年。その三分の一を超える年月を国内宣教に捧げたコース・マルセル神父が、福岡教区最後の同会宣教師としてこの地を去った。

日本における活動を「宣教の旅」と呼んだ同神父が、寂しさをにじませながらこの聖なる足跡について思いを綴った。

日本での50年を終え、フランスへの帰国を数日後に控えた今、私は、日本における私の宣教師としての冒険の原点を特定するよう求められています。私の罪深さ、欠点、裏切りにもかかわらず、私の宣教の旅を支えてきた三つの柱は、おそらく私を保ち続けることになると思います。

『福音の喜び』に支えられて

フランシスコ前教皇の使徒的勧告『福音の喜び』に支えられています。前教皇は、私たちの中で最もか弱い人々に優先的に与えられるべきであると常に主張し、その本によって私はしばしば正しい道に立ち戻ることができました。また、おにぎりを分かち合うために1列に並んだホームレスの人々のような「小さな者たち」との出会いによって慰められ、彼らの中にキリストがおられることを発見することができました。なんという慰めと幸福でしょう。

キリストの自由を再発見する

神の使命に忠実で、貧しい人、病人、罪人と連帯し、十字架に至るまで暴力的な対立に直面しながら、辺境に行くことを選んだキリストの自由。人間の顔をした神、例外なくすべての人が生命と幸福を手に入れることができるように、私たちの歴史のまさに中心で味方する神の顔。そのために、「同じ目線」で分かち合う日常生活の中で、道すがら出会う人々の中に、神であるキリストの顔を発見したいという渇望があります。

社会の中での聖霊の働き

私の日本での50年間には、主に二つの時期がありました。最初の20年間はJOC（日本カトリック青年労働者連盟）の若い日本人メンバーとともに北九州の労働者の町で、そのあとの30年間は福岡の美野島司牧センターで活動。労働者や移住者、拘置所にいる人、ホームレスの人を支援する、アウトリーチ活動（私は北九州時代を含め40年以上、夕方彼らに会いに出かけている）、日本の若い薬物依存症者のリハビリテーション：同センターはちょうど創立30周年を迎えたところです。

もし同センターが、前教皇フランシスコが語るような、私たちが傷を癒し、心を温めようとする野戦病院のような歓迎、和気あいあいとした分かち合い、親密な連帯の場になっているとしたら、明らかに私の個人的な能力をはるかに超えています。私が経験した出来事や出会いの中に、私の歩む道に神が存在する兆しを見ることができたのは、神が私に与えてくださった大きな恵みです。一歩下がって一息つくことなく、新たな原動力を与え続けてくださったので、私はただ歓迎することだけでよかったのです。

長年にわたる麻薬・覚醒剤等乱用防止活動に対し、福岡県知事より感謝状を授与される

1887年、パリ外国宣教会は福音を伝えるため長崎から福岡に宣教の場を拡げ、1927年には福岡教区を創立しました。140年にわたって福岡教区で宣教をしてきましたが、私が福岡教区で最後のパリ外国宣教会の神父となりました。寂しいです。

最後に司教様をはじめ、司祭の皆さま、信徒協の皆さまの祈りとサポートに感謝して、今後も変わらぬご支援を美野島司牧センターの未来のためにお願いいたします。

コース・マルセル神父

時の話題
戦後80年　沖縄慰霊の日に

アジア太平洋戦争で約20万人が犠牲になった沖縄戦。戦後も銃剣とブルドーザーで土地を接収されて米軍基地が築かれ、1972年の本土復帰まで米軍政下に置かれたオキナワ。今も在日米軍基地の70％以上が集中するオキナワ。危険な輸送機オスプレイや戦闘機が飛び交う空の下、騒音と墜落に怯えて生活しなければならないオキナワ。米兵による性暴力事件が後を絶たないオキナワ…。

県民の声は無視され、辺野古や宮古島、石垣島などに新基地が建設中。そんな中で今年も6月23日「沖縄慰霊の日」がめぐってきます。1945年、鉄の暴風が吹き荒れた沖縄戦において組織的な戦闘が終結した日とされ、朝から遺族が各地の慰霊碑などに集まり、鎮魂の祈りを捧げます。

戦後80年の今も沖縄各地から遺骨や遺品、不発弾が発見されています。沖縄では、あの大戦はまだ終結していないかのようです。私たちは再び沖縄を戦場にしてはなりません。

沖縄は1879年、明治政府により日本に併合される前は450年も続いた琉球王国でした。加害の重みを省み、沖縄の人々の心の痛みに寄り添い、平和を祈り続けたいと思います。

「NO! OSPREY NO! RAPE NO! BASE」―この旗を掲げる「普天間基地ゲート前でゴスペルを歌う会」（毎週月曜開催）に連帯し、全国約10カ所で超教派のキリスト者を中心にゴスペルを歌い、聖書を朗読し、平和を祈る非暴力抵抗運動が展開されています。

福岡でも2013年から「ゴスペルアクションin福岡」として、毎月・第4月曜午後6時から福岡アメリカンセンター前で開催中です。皆さま、ぜひご参加ください。

大名町教会　信徒

みちくさ

復活の土曜日、能登半島に位置するカトリック輪島教会とカトリック七尾教会を巡礼した。朝早く滞在先の金沢市を車で出発し、全線が開通した「のと里山海道」を走った。輪島に近づくころに「おとのみち」と呼ばれるメロディー道路を通過した。ここで流れる曲は、NHKの朝ドラ「まれ」の主題歌だが、メロディーの一部がかすかに鈍く聞こえただけ。それでも、とにかく、道路開通に感謝だった▼輪島市の街中はひっそりして、ブルドーザーの音だけが響いていた。輪島教会は高台にあり、坂の下に仮設住宅が並んでいた。教会は建て替え工事中で、幼稚園の先生が対応してくださったが、この方も仮設住宅に仮住まいとのこと▼輪島を出て、千枚田で有名な曽々木海岸沿いを珠洲に向かった。車の運転を買って出てくれた金沢在住のゆかさんは、輪島から珠洲を通って七尾まで走るつもりで、心の準備が既にできていた。たしかに、地震の爪痕を目の当たりにする緊張感と、復旧工事の大変さを痛感するドライブだった▼七尾市の街中にある七尾教会は教会も幼稚園も無事だった。聖年の巡礼手帳にスタンプを押して聖堂に入り、まだイエスさまを知らないゆかさんを聖堂内に案内した。イタリア人作でキリストの生涯を描いた6枚の大きなフレスコ画が壁一面に配置されていたので、絵の前でイエスさまの話をすることができた。それから、主のご復活を感謝し、フランシスコ教皇さまの「希望は欺かない」という「聖年の祈り」を捧げ、この日ここまでの出来事を思い返しながら祈りを続けた。（G）

フランシスコ教皇　追悼ミサ

微笑む遺影が飾られた追悼ミサ

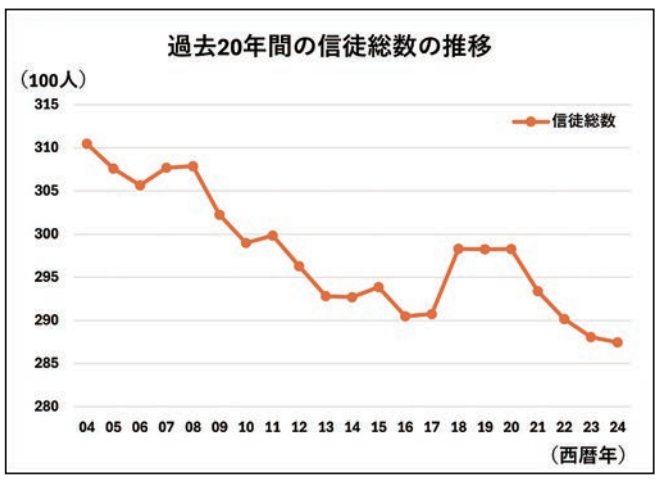
それまで連日続いた20度を超える暑さが影をひそめ、その日は午後からよく晴れわたったものの日差しは暖かく、そしてやさしかった。

世界中が悲しみのうちに喪に服す中、4月25日夜7時からカテドラル大名町教会においてフランシスコ教皇の追悼ミサが執り行われ、司教と25人の司祭とともに3階席にまで溢れた300人を超える信徒が、御父の元に帰った教皇のために祈りを捧げた。祭壇の前には一脚の簡素な円形のテーブルが置かれ、その上にバラなどの白い花に囲まれて微笑む教皇の近影が飾られているという見慣れぬ情景が、このミサが普段とは異なる特別なものであることを告げていた。

司式をしたヨゼフ・アベイヤ司教は、説教の中でこのように述べた。「教皇フランシスコは、すべての人々を深く愛し、福音の喜びを多くの人々に伝えたいという望みを持っていました。教会にはいろいろな厳しい掟がありますがそれが中心ではないと考え、教会は神様の恵みの税関ではなく、神様の恵みをみんなに届ける道具であるとして、福音を中心に置いた教会のあり方を望み、そのためにさまざまな改革を試みていた教皇でした。神様が私たちに何を求めているかということを深く考えて、確信を持ってその改革を進めてこられました。どうぞ教会へ来てください、あなたの求めているイエス様が与えてくださいということを、みなさんに分かるいろいろな形で語られたのです。そして世界においては、勇気と希望をもって人間の尊厳と平和を訴え続けてこられた方です。非暴力、対話、和解などの必要性を訴え続け、核兵器を無くすだけでなく、使用しないだけでなく、『持つ』ということだけで倫理に反するということを、何を言われようとも耐え続け、訴えてきたのです」

ミサの最後、アベイヤ司教と司祭たちによる献花の後は、静かに花をたむける信徒の列が長く続いた。

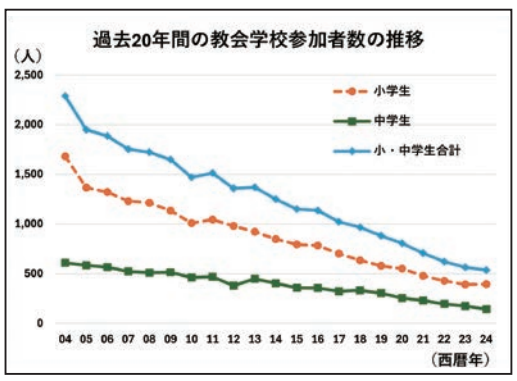
2024年 福岡教区現勢報告
少子化から読み解く教会の未来



福岡教区が長崎大司教区より、分離独立して2027年に100周年の節目を迎えることになります。新たな門出の時にあたり教区の現実に目を向けましょう。

少子化が叫ばれるようになって久しいですが、少子化が向かうところは人口減少社会です。これは教会にとっても同じ現実です。通常、人口は緩やかな自然増につながるものですが、少子化のために減少の一途をたどっています。福岡教区もこの20年間信徒数の減少に歯止めをかけることができない状況です。

信徒数の減少は子どもの洗礼、教会学校への参加にも表れています。もちろん、社会全体が少子化傾向にありますから、幼児洗礼の減少も避けられない現実です。さらに、教会学校への子どもたちの参加も学校行事、塾、クラブ活動等への参加のために困難になっているのも事実でしょう。



しかし、洗礼を受けた子どもたちの教会学校離れを時代の流れとして受け流してよいのでしょうか。信仰教育は、教会学校がすべてではなく、家庭における信仰の伝達が基本であり、子どもたちの教会学校離れが進むことに過敏になることはないという考えもあります。統計には誤差が付きものですから、一口に言えないところもあります。しかし、世代別に見て幼児洗礼を受けた子どもたちの教会学校参加者が減ってきていることをどのように考えるべきでしょうか。

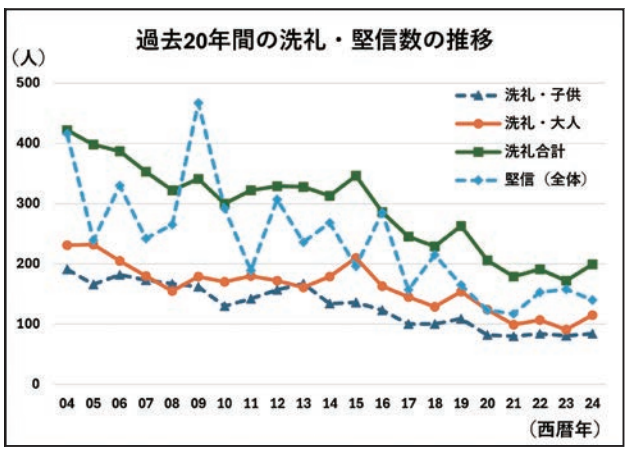
これらの流れに反して近年、育成就労等のために訪れる外国籍の兄弟姉妹の増加には目を見張るものがあります。文化、生活習慣等の異なる者同士が同じ主に希望を抱き、一つの共同体をつくり上げる作業が必要です。相互理解と協力がますます求められるようになります。

浦川務神父
（今村・本郷教会）

福岡教区　現勢報告　2024年
（2024年1月～12月）

	教会名	在籍信徒数 男	女	合計	居所不明者	死亡	洗礼 幼児	成人	ミサ参加者数 主日	復活祭	降誕祭	外国語ミサ(月当たり)
1	糸　島	197	250	447	70	4	0	0	70	130	180	0
2	大　楠	137	177	314	57	4	6	3	65	225	240	0
3	古　賀	412	522	934	50	9	8	1	145	240	342	27
4	笹　丘	292	441	733	16	8	2	1	120	180	230	3
5	浄水通	274	414	688	190	5	3	3	110	190	340	30
6	大名町	943	1,529	2,472	8	22	5	8	350	700	1,220	1,000
7	高　宮	241	358	599	9	8	1	6	110	150	250	0
8	茶　山	143	170	313	5	5	0	1	70	97	87	0
9	西　新	551	766	1,317	220	20	0	4	200	240	270	0
10	箱　崎	186	212	398	0	2	0	2	180	220	240	350
11	光　丘	502	568	1,070	98	10	0	0	162	300	340	0
12	吉　塚	220	306	526	93	5	2	1	110	135	145	0
13	老　司	239	275	514	8	5	2	0	51	105	359	0
福岡地区計		4,337	5,988	10,325	824	107	29	30	1,743	2,912	4,243	1,410
14	今　村	357	489	846	0	16	0	0	200	200	201	0
15	大牟田	201	272	473	73	5	0	1	110	194	240	0
16	小　郡	141	227	368	31	3	1	1	100	120	150	50
17	久留米	520	686	1,206	20	20	11	13	300	500	750	500
18	二日市	233	298	531	65	5	2	1	130	150	250	0
19	本　郷	265	337	602	0	5	0	0	90	170	170	0
筑後地区計		1,717	2,309	4,026	189	54	14	16	930	1,334	1,761	550
20	飯　塚	140	182	322	0	3	3	4	57	121	115	0
21	黒　崎	364	526	890	205	13	0	0	120	180	180	0
22	小　倉	768	1,087	1,855	184	26	4	12	180	400	380	70
23	新田原	671	752	1,423	0	16	2	2	200	429	333	0
24	田　川	41	49	90	18	3	1	1	25	65	80	0
25	天神町	68	109	177	60	7	0	0	40	70	70	0
26	戸　畑	167	237	404	0	4	2	0	110	140	120	0
27	直　方	96	93	189	56	2	8	0	30	70	80	0
28	水　巻	309	400	709	114	10	0	0	80	120	210	25
29	門　司	190	259	449	123	4	0	0	60	145	130	0
30	湯　川	392	493	885	222	14	3	2	80	160	210	0
31	行　橋	399	448	847	49	11	3	6	200	250	400	200
32	若　松	99	153	252	0	1	0	2	60	70	200	0
北九州地区計		3,704	4,788	8,492	1,031	114	26	29	1,242	2,220	2,508	295
福岡県合計		9,758	13,085	22,843	2,044	275	69	75	3,915	6,466	8,512	2,255
1	伊万里	126	139	265	25	1	2	1	68	146	162	23
2	鹿　島	29	29	58	0	0	0	0	15	25	25	0
3	唐　津	187	198	385	67	5	0	1	40	86	120	0
4	佐　賀	257	413	670	92	7	2	5	135	300	255	0
5	多　久	64	69	133	42	3	0	1	15	20	15	0
6	武　雄	36	43	79	8	2	0	0	15	50	60	0
7	鳥　栖	150	221	371	11	1	1	1	70	130	200	0
8	馬渡島	65	66	131	51	1	0	0	10	40	60	0
9	呼　子	183	188	371	0	4	0	0	50	40	60	0
佐賀県合計		1,097	1,366	2,463	296	24	5	9	418	837	957	23
1	荒　尾	31	73	104	13	2	0	0	40	55	55	0
2	大　江	88	158	246	0	4	0	0	40	50	50	0
3	帯　山	120	166	286	87	1	1	1	55	125	140	0
4	菊　池	32	51	83	36	4	0	0	48	73	63	0
5	健　軍	67	136	203	134	7	0	0	60	60	80	0
6	崎　津	70	93	163	6	5	1	1	25	50	40	0
7	島　崎	124	195	319	0	2	0	0	60	80	120	0
8	玉　名	58	80	138	80	1	1	0	35	50	60	0
9	手　取	387	660	1,047	20	25	5	25	200	320	460	100
10	人　吉	55	73	128	13	2	1	1	20	30	50	10
11	本　渡	40	70	110	56	1	0	0	30	40	35	0
12	水　俣	25	36	61	0	5	0	1	19	22	32	0
13	武蔵ヶ丘	105	270	375	0	12	1	1	95	180	180	25
14	八　代	65	113	178	54	1	0	1	80	150	220	15
熊本県合計		1,267	2,174	3,441	499	72	10	31	807	1,285	1,585	150
教区総計		12,122	16,625	28,747	2839	371	84	115	5,140	8,588	11,054	2,428

【注】　在籍信徒数は居所不明者を含めた数。



サンパウロ
福岡宣教センター
営業時間:
10:00～18:00
定休日：日曜日・祝日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 ／fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp
レジナ アポストロールム

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る
株式会社
みこころ舎
問合せ
050-3032-1333

青年たちの熱い一日

乙女峠まつり

5月3日、“カタラント主催日帰りツアー「乙女峠まつり」”として、司祭や高校生等を含む25人で島根県の津和野町で行われた「乙女峠まつり」に参列した。

殉教者へ想いを寄せた「乙女峠まつり」

「乙女峠まつり」は、津和野町で殉教したキリシタンたちに捧げられ、毎年5月3日に行われている。1867年から始まった浦上四番崩れで津和野に流された信徒たち153人は、江戸時代以上とも言われる拷問にも屈せず信仰を貫き、37人が殉教した。「乙女峠まつり」に参列し、過酷な状況の中でも自身の信仰を守り証しした人々を知り、思いを寄せる機会になれば、と思い準備をした。

当日の朝、津和野町にはさまざまな教区から多くの人が集まっていた。開会式の後、津和野カトリック教会から約2キロ離れた乙女峠への聖母行列に続いて街を歩き山道を登り、野外ミサにあずかった。参加者からは、「島根県津和野町は初めて訪れたが、長崎以外で殉教した人のことはあまり知らなかったので、カトリックの歴史を知ることができてよかった」「(聖母行列中) 道沿いの家やお店から信者ではない人も出てきてお辞儀してくれるのを見て、地域の人から歓迎され、尊重されていると感じ嬉しかった」という声があった。

この企画の実施には、数えきれない支えがあった。投げ出したくなる瞬間もあったが、そのたびに仲間や家族からの応援やサポート、出会いによって助けられ、乙女峠までたどり着いた。かつて、改宗を迫られた方々も家族や仲間の支えを通して神様を感じ、信じる強さにしたのではないかと思う。その強さは、お互いを支えあえる希望であり、そこには神様の大きな愛を感じる。彼らの苦難は計り知れないが、少し思いを共にできたような気がする。この思いを忘れず、今後も信仰の道を歩みたい。

大名町教会　荒牧結花

WYD（ワールドユースデー 世界青年大会）の十字架

十字架を担いで行列に参加する青年たち

今回の行事では、初めて青年の皆さんと朝の準備から参加し、実際の十字架を見た。初めて見たとき、この十字架が世界を回りたくさんの方々の願いが込められながら旅をしているのだなと感じ、まさにこの十字架と出会えたことは運命だったのだろうと思った。

私は幼少期から教会には行っていたが、洗礼を受けたのは最近で、青年会とは全く無縁だった。洗礼を受けてから、カタラントなどの活動に少しずつ参加させてもらっていた。私も含め、今の若い世代は宗教というものに興味や関心がない方が多いという印象がある。しかし今回の活動で福岡以外の青年の方と初めて交流したことで、同じカトリックの青年がたくさんいることにすごく喜びと新鮮さを感じた。

ミサが始まる前、十字架を各教区の皆さんと聖歌を歌いながら実際に担いで行く中で、イエス様のゴルゴタの地までの歩みを思い出した。十字架はイエス様の苦しみと犠牲、そして復活は救いの希望と神様の愛の証しを意味している。それに加えて個人の祈りや願いが込められていることを感じ、一層重さを感じた。

私は、今回のミサに参加できたこと、そして青年と交流できたことへの喜びの声をたくさんの方々から聞くことができた。この活動を通して、一人ひとりの希望や願いを世界中に届けられるような人になっていきたいと改めて思った。これからも青年会の活動を通して、さまざまな形でたくさんの方々と分かち合いなどもしていきたい。

老司教会　岩元佳奈

熊本　花岡山殉教祭

殉教者の十字架を前にミサを行う司教（中央）と司祭団

4月27日午後2時より、福者小笠原玄也一家15名の殉教祭が、花岡山殉教者広場で行われた。ここには、福岡教区長アベイヤ司教をはじめ、県内各地から司祭、修道女及び、信徒約250人が集い、春の日差しの中、15名の殉教者の生涯を偲びつつ、その深い神への信仰を讃美した。

この日は、御復活後の「神のいつくしみの主日」に当たり、殉教祭に相応しい恵みの時となった。

式典では、最初に小笠原玄也一家15名の殉教の史実が厳粛に朗読された。続いて、しばしの黙想の後、粛々と御ミサが捧げられた。アベイヤ司教はこのミサの中で殉教者たちの信仰に触れ、本日の御言葉を通して皆の心を殉教者の心の内に招き入れるため、使徒トマスへの御言葉を一句一句強調された。トマスに言われた「信じない者でなく信じる者になりなさい」「見ないで信じる人は、幸いである」この主の御言葉は、参列者の心を殉教者への信仰へと招くものとなったであろう。その後、15名の殉教者の一人ひとりの名を記した十字架が、参列した信徒によって、それぞれ祭壇中央に奉納された。

この殉教祭に参列した熊本のある信徒は、「潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産への登録は日本の歴史上負の遺産と呼ばれていますが私は決してそう考えたくはありません。これは神への信仰によって支えられた殉教者たちの、ひどい迫害を行った権力者たちへの『赦しの遺産』であると信じたいのです」と感想を述べた。

島崎教会　髙木光行

キリシタン法要

法要で祈りを捧げる下町神父（左）と青木神父（右）

4月13日、福岡県田川郡香春町の浄土宗光願寺において踏絵で受難したキリシタンの法要が行われた。江戸時代の初めには3000人のキリシタンがいたとされ、1829年に行われた宗門改めの絵踏みでは、踏まず者2078人と記された小笠原小倉藩の古文書が残っている。しかし、この寺は、1945年9月の台風による山崩れで10人近くの住民と共に土砂に埋もれ、残念ながら寺の踏絵や記載のもととなった古文書は消失してしまった。

このたび、光願寺が開山記念のキリシタン法要を行うことから、カトリック教会に参加の要請があった。光願寺の御堂で、町の歴史家による田川地域の潜伏キリシタンの講演があり、この地に残るディエゴ加賀山隼人の墓と伝えられている祠や、細川忠興が寄進したというマリア観音像などが紹介され、キリスト教禁止令の下、加賀山隼人を筆頭に、その後も踏絵が行われ、迫害を受けた者も多くいたのではとの話を聞いた。

続いて、浄土宗によるキリシタン法要、そして北九州地区長の下町豊重神父（行橋・豊津教会主任）、青木悟神父（小倉教会主任）による祈りが捧げられた。禁教令の時代（小倉の地で処刑されたディエゴ加賀山隼人や信者が、信じる者は、だれも決して死ぬことはない」。このイエスの活であり、命である。私を信名により、命をかけたキリシタンの人たちを偲び、宗派を超えて法要ができた。

田川教会　丸田宏幸

九州ダルク30周年

4月26日、九州ダルク30周年記念フォーラムを無事に開催することができました。300人を超える皆さまにご来場いただき、参加者からは「これほど多くの回復を続ける仲間に会えて希望が湧いた」「懐かしい仲間と再会できて嬉しかった」との声も寄せられました。

また、ヨゼフ・アベイヤ司教様にはご来賓としてご臨席いただき、励ましに満ちたご挨拶を賜り、大変光栄に存じます。お言葉は仲間たちにとって、何よりの力となりました。九州ダルクは30年間、福岡司教区をはじめ多くの信者の方々に支えられ、祈りと励ましを頂きながら回復の道を歩んで来ました。

そしてこの節目の年に、長年ダルクに寄り添ってくださったコース・マルセル神父様（パリミッション会・美野島司牧センター長）が帰国されました。私たちにとって神父様は、祈りと実践をもって導いてくださった大切な存在です。寂しさは尽きませんが、これからも遠くから私たちを見守っていてくださると信じています。本当にありがとうございました。

皆さまの温かいご支援を胸に、これからも依存症からの回復の道を、仲間とともに歩み続けてまいります。今後ともご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

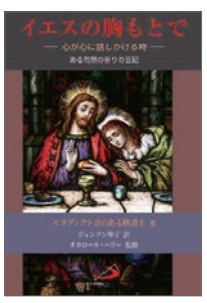
※ダルクとは、薬物依存症者の回復のためにつくられた施設

NPO法人
九州DARC
代表 大江昌夫

謝辞を述べる大江氏（左）

BOOK 読みは専科

☆イエスの胸もとで―心が心に話しかける時―ある司祭の祈りの日記
オカロール・ハリー（監修）
ジョンソン伸子（訳）



静寂の中に語られる、イエスの愛のささやき。

本書は、あるベネディクト会修道士が聖体礼拝の中で受けた、主イエスと聖母マリアからの神秘的な啓示と霊的な経験を日記形式で綴った感動の記録です。

愛に飢えた魂に、イエス自身が語りかけるその言葉は、まるで心臓の鼓動のように私たちを包み、癒やし、立ち上がらせます。

イエスは今も、あなたを待っています。その声に耳を傾けるための、優しい導きがここにあります。

サンパウロ社発行
税込価格4400円

ド・ロさま 皿うどん
Nagasaki Spaghetti 長崎スパゲッチー Since 1883
株式会社サンフリード ド・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611
右記URLから ご注文できます

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322　FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522　FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん ご一緒に働いてみませんか
URL：http://www.st-mary-med.or.jp/

「QRコード」という名称はデンソーウェーブの登録商標です。

年間目標　互いに支え合う 交わりの教会となる

8月11日(月・祝) 福岡教区主催「2025 平和を祈る集い」
テーマ：戦後 80 年　平和への誓いを新たに

今年も「平和を祈る集い」では、「平和」をテーマに**絵・俳句・川柳・短歌**を募集いたします。作品は当日、大名町教会講堂もしくはロビーに掲示します。(応募締め切り 2025 年 7 月 31 日)

【応募先】
①郵送　〒810-0028　福岡市中央区浄水通 6-28
　教区本部事務局「平和を祈る集い　作品受付窓口」
②Ｅメール　cdf-kouhou@nifty.com
　送信時件名「平和を祈る集い　作品応募」

福岡教区ハンドブック 2025　発行

「福岡教区ハンドブック 2025」は、各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。
また、スマホや PC 用に、PDF による配布も行なっています。詳細は各小教区にお知らせを配布しておりますので、ご覧の上お申し付けください。

終活　宣教養成委員会主催 自分と愛する人のために 考え、準備し、実践すること

［日　時］6 月毎火曜日 10時～11時30分
［場　所］カテドラル大名町教会　1 階講堂
参加費無料、関心のある方はどなたでも。
※詳細は右記 QR コードからご確認ください。

JLMM (日本カトリックミッショナリームーブメント) カンボジア派遣　一時帰国活動紹介

教区報2023年 8 月号で紹介した、久留米教会の中島愛さんによる、活動報告が行われます。
［日　時］6 月15日 (日) 9 時ミサ後
［場　所］カトリック久留米教会・聖堂
［日　時］6 月22日 (日) 15時～17時
［場　所］福岡教区青年センターカタラント
　(カテドラル大名町教会 1 階)
※参加費無料、事前申込不要。

第42回 福岡地区カトリック女性の会 総会

［日　時］6 月21日 (土) 13時～16時
［場　所］カテドラル大名町教会　大聖堂
［内　容］総会・感謝ミサ
　主司式：ヨゼフ・アベイヤ司教
　共同司式：レナト・フィリピーニ神父
　(福岡地区カトリック女性の会担当司祭)
［申込み・問合せ］〆切　6 月15日 (日)　※当日参加も大歓迎！各教会の女性の会委員にお尋ねください。

第 86 回　福岡典礼聖歌研修会

［日　時］6 月22日 (日) 14時～16時
［場　所］カトリック浄水通教会
［内　容］「ミサ中の歌について」
［講　師］深堀 純 氏　※ 参加費：感謝献金
［問合せ先］☎ 092・541・3730 松山 ※典礼聖歌集持参

― 召命を共に祈る会 ―

福岡地区　6 月17日 (火) 13時30分～ 大名町教会
〔問合せ先〕☎092・921・4532 山口
北九州地区　6 月14日 (土) 14時～ 小倉教会
〔問合せ先〕☎0949・24・9905 藤井
熊本地区　6 月19日 (木) 9 時30分～ 健軍教会
〔問合せ先〕☎096・369・8896 松上

― 各種団体の定例会 ―

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報6月号」、または右記 QR コードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し　6月のこよみ

福岡教区創立 100 周年に向けて かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう！

2027 年 7 月 16 日まで あと 25 ヶ月

スタンプを押した久留米教会のページ

―８つの巡礼指定教会―
カテドラルの聖年の扉が開きました。
希望の巡礼を始めませんか。
スタンプノートも忘れずに。

その３．カトリック久留米教会
西鉄久留米駅を降りて徒歩約 10 分のところにあります。「至聖なるイエスのみこころ」に奉げられた教会です。

真命山諸宗教対話センター　- 祈りの集い -

年間テーマ：希望の巡礼者
日　　時：6月12日(木) 10時～15時
内　　容：「希望」と愛の業
　希望は神の愛の業によって現れる
次　　回：7月10日(木)
内　　容：「希望」と祈り　希望は祈りによって養われる
※2025年から、指導はチームで行われます。
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail　shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

【6月】
1日(日)　主の昇天　黒崎教会・堅信式
3日(火)　(宗法)幼稚園理事会(決算)
4日(水)　司祭評議会(大名町)
5日(木)　常任司教委員会(zoom)
8日(日)　聖霊降臨の主日　天神町教会・堅信式
　集会祭儀司会者養成講座(大名町)
9日(月)　教区司祭黙想会(旧カトリック神学院 ～13日)
11日(水)　カトリック学校教職員研修会(熊本)
14日(土)　聖心のウルスラ修道会終生誓願式
15日(日)　聖霊降臨の主日　佐賀地区信徒研修会(佐賀教会)
16日(月)　司教総会(東京～20日)
21日(土)　福岡地区女性の会・総会 ミサ主司式(大名町)
22日(日)　キリストの聖体
23日(月)　沖縄慰霊の日(沖縄)
24日(火)　洗礼者聖ヨハネの誕生
　経済問題評議会　教区司教顧問会(決算)
28日(土)　兵頭俊介助祭の司祭叙階式(愛媛・松山教会)
29日(日)　聖ペトロ 聖パウロ使徒
　年間第13主日　聖ペトロ使徒座への献金
　飯塚教会司牧訪問　福岡教区宣教司牧評議会(大名町)
30日(月)　仙台教区の司祭研修会(仙台)
【7月】
1日(火)　聖ペトロ岐部と187殉教者
2日(水)　奉献生活についての研修会(東京神学校)
5日(土)　聖公会・九州教区主教按手式への参加(福岡)
6日(日)　年間第14主日　湯川教会司牧訪問
■ゴシックは司教日程

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記ＱＲコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

集いの詳細は、各問合せ先にお尋ねください。

■美野島司牧センター
○ホームレスの方に温かい食事と衣類
　毎週火曜日10時
○ホームレス支援炊き出し調理　第２・４金曜日
　夜回り　21時～
○路上からアパートに入居した方を訪問　第３土曜日14時
〔問合せ先〕☎０９２・４３１・１４１９　Ｄ・ジョンソン神父

■大濠カトリック会館・宣教養成センター
○ミーアサロン大濠
　第１・第３水曜日10時～
〔問合せ先〕☎０９２・７５３・６７６５角田
○みことばのお弁当
　第４木曜日10時～
〔問合せ先〕☎０９２・７５３・６７６５大濠カトリック会館

■宣教養成委員会―「黙想と祈りの集い」デゼの歌と共に
〔日時〕6月26日(木) 19時30分～約1時間〔場所〕大名町教会小聖堂〔問合せ先〕☎０８０・３２２７・８２９５(杣)

お詫びと訂正

教区報5月号(第７９６号)３面「知りたい！福岡教区の修道会、宣教会、シャルトル聖パウロ修道女会」×１９２０年(明治43年)○１９０９年(明治42年)

編集後記

先月の後記でご紹介した、いつもと違っていた教会の鐘の音が気になり、教区ＷＥＢサイトへ問い合わせをされた質問者さま。こちらからの回答メールに、またすぐに以下の返信をくださったのです。

「返信ありがとうございます。イースターのことを教えていただき、大変感謝しています。イースターはイエス・キリストの復活の日。磔の３日後の復活を祝う復活祭でしたね。

私はカトリック、キリスト教徒ではありません。幼少時から両親の信仰により、キリスト教には少なからず苦手な所がありましたし、そこから抜け出せたのが高校入学前で、幼少期を宗教で踏みにじられた気持ちでいました。

しかし、福岡在住時、カトリック教会の鐘の音が非常に印象的でした。

福岡、東京を経て、今は地元に戻っているのですが、福岡在住時の記憶、意識があったので、今年の元旦、初めて地元にあるカトリック教会の聖堂に入ってみました」

次号に続く。(Ｗ)

Doa mengubah segalanya（祈りはすべてを変える）
Koga Oktariareny（古賀 オクタリアレニー）(Indonesia)

古賀さんが通っていたインドネシアの教会

Tidak ada seorang pun yang dapat menghentikan kuasa Tuhan dlm hidup kita. Aku yang lahir dan besar dalam didikan keluarga katolik tidak pernah berpikir untuk menikah dengan orang asing dan berbeda kepercayaan. Karena beda keyakinan pernikahan kami hanya sah secara hukum negara, padahal aku bercita cita untk menikah dan menerima sakramen perkawinan di gereja. Sedih dan kecewa tentu sudah pasti tapi aku percaya akan rencana Tuhan yang pasti selalu lebih indah dibanding kekecewaan kita. Setelah menikah aku menetap di jepang mengikuti suami. Seperti yang tertulis dalam Kitab Yosua 1:9 “Bukankah telah Kuperintahkan kepadamu:kuatkan dan teguhkanlah hatimu? Janganlah kecut dan tawar hati,sebab Tuhan,Allahmu menyertai engkau,ke mana pun engkau pergi”.Ya aku percaya Tuhan selalu menyertaiku meskipun berbeda keyakinan dengan suami tidak membuatku berhenti berdoa dan membuat tanda salib setiap sebelum memulai semua aktivitas ataupun pergi meninggalkan rumah. Suamiku juga tidak keberatan saat putriku dibabtis dan aku mendidiknya secara katolik. Putriku di babtis di Indonesia karena saat itu aku masih belum menemukan Gereja Katolik di daerah tempat kami tinggal. Karena bagi orang jepang, agama Katolik adalah agama Kristen (Protestan). Setelah mencari dan bertanya akhirnya kami menemukan Gereja Katolik mekipun jaraknya sangat jauh dari daerah tempat kami tinggal (33km sekitar 1 jam perjalanan). Akupun minta suamiku mengantar ke gereja yang ada di daerah Kurume untuk melihat jadwal hari dan jam misa.

Malam Natal kami sekeluarga pergi mengikuti misa Malam Natal untuk pertama kalinya di gereja. Senang, bahagia juga rasa haru bercampur jadi satu. Akhirnya aku bisa kembali mengikuti misa dan bertemu dengan saudara seiman yang lain. Setelah mengikuti misa malam natal, aku langsung mencari Romo paroki untuk mendaftarkan putriku sekolah minggu sebagai persiapan menerima komuni I.(...continued)

全文と日本語訳は右記から→
Full text and Japanese translation available via QR code

2025年 第2回 ボスコキャンプ in 野尻湖

対　　象：カトリック信者ならびにキリスト教に関心のある中高生男子
期　　間：2025年 8 月 9 日 (土) ～ 8 月 12 日 (火)
場　　所：〒389-1312 長野県上水内郡信濃町大字富濃字宮沢 3940
　サレジオ高専野尻湖山荘　TEL 026-258-3925
主な内容：自然の中で祈りの体験、若者と共に捧げるミサ、ロザリオ、よくわかる 聖書学習、みんなの疑問に答えるＱ＆Ａ、水泳、ボート、演芸大会他
問合せ先：調布サレジオ神学院　武井 アントニオ 神父
〒182-0033　東京都調布市富士見町3-21-12
TEL：042-482-3117　FAX：042-489-7645　e-mail：dbjpyouth@gmail.com

昨年の様子

詳細は右記QRコードからご覧ください

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話　080-2694-4182
受付時間　月～金（祝日を除く）
10:00 ～ 12:00　13:00 ～ 16:00